

# 第 5 章 地域別構想

## \* 地域区分について

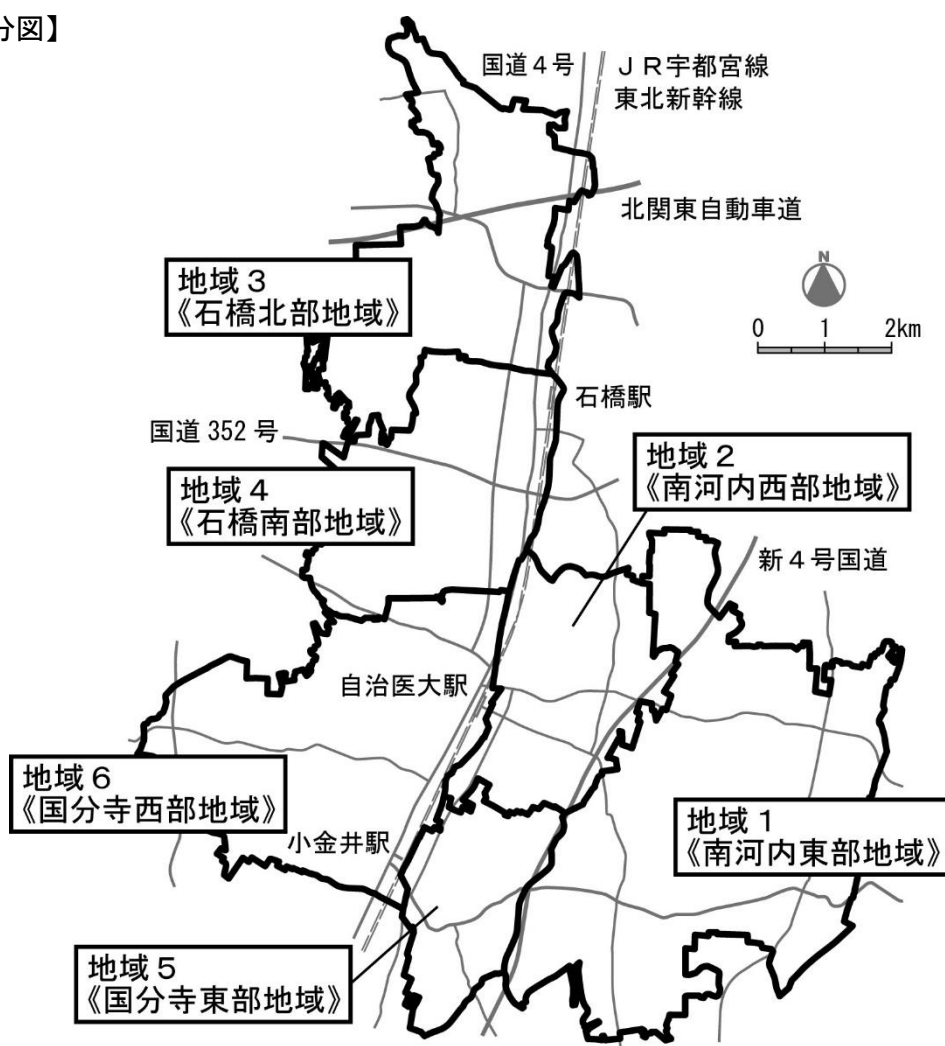
「地域別構想」においては、「全体構想」における全市的なまちづくりの基本方針を踏まえ、さらに詳細なまちづくり構想を策定します。

地域区分は、地形的条件や地域コミュニティの状況などを勘案し、字界を境界として、下表の6地域を設定します。

【地域区分図】

地域区分	字名
地域1《南河内東部地域》	成田、町田、谷地賀、下文狭、田中、仁良川、本吉田、別当河原、下吉田、磯部、中川島、上川島、上吉田、三王山、絹板、花田、下坪山、上坪山、東根
地域2《南河内西部地域》	薬師寺、祇園一～五丁目、緑一～六丁目
地域3《石橋北部地域》	上古山、下古山、下古山一～三丁目、文教一～三丁目、下長田、上台
地域4《石橋南部地域》	石橋、上大領、中大領、下大領、東前原、下石橋、大光寺一～二丁目、大松山一丁目、花の木一～三丁目、細谷、橋本
地域5《国分寺東部地域》	柴、駅東一～七丁目、烏ヶ森一～二丁目
地域6《国分寺西部地域》	小金井、医大前一～四丁目、小金井一～六丁目、笹原、箕輪、川中子、国分寺、紫

【地域区分図】



# 地域1 《南河内東部地域》

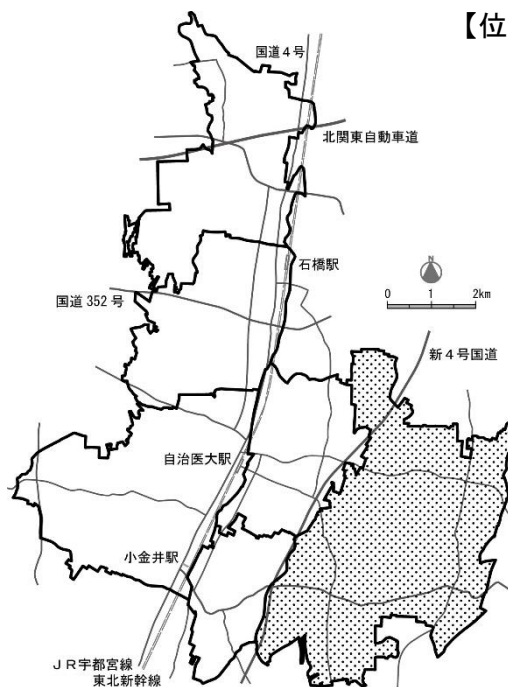
## 1. 地域の特性・役割を踏まえたまちづくり基本方針

### (1) 地域の特性・役割

#### ① 地域の特性

- (ア) 仁良川地区の市街地や県道宇都宮結城線・県道結城石橋線沿いの集落などにより形成され、ふれあい館、三王山ふれあい公園などが立地しています。
- (イ) 新4号国道・県道宇都宮結城線の南北軸と、県道栃木二宮線・県道下野二宮線の東西軸を骨格とした道路網が形成されています。
- (ウ) 鬼怒川・田川と田園地帯が一体となった緑豊かなふるさとの景観が広がっています。

【位置図】



#### ② 地域の役割

- (ア) 仁良川地区・西坪山工業団地・下坪山工業団地の「都市環境形成ゾーン」が、市の東部における生活や産業の中心としての役割を担っています。
- (イ) 仁良川地区の土地区画整理事業区域は、住みよい環境を備えた定住の場の形成を図る「定住市街地エリア」となっています。
- (ウ) 西坪山工業団地・下坪山工業団地は分譲済みであり、その周辺については、産業活性化やさらなる就業の場として、新4号国道を活かした工業系の土地利用誘導を図る「産業誘導エリア」となっています。

### (2) 南河内東部地域のまちづくり

地域の特性や役割を踏まえたまちづくりの方向を設定します。

#### ① 土地利用

- (ア) 仁良川地区の土地区画整理事業区域は、住みよい住宅地の形成を図り、豊かな自然に包まれた便利で快適な定住の場として選ばれるまちづくりを進めています。
- (イ) 西坪山工業団地・下坪山工業団地の機能向上を図るとともに、新4号国道周辺においては、広域的な交通ネットワークを活かした新たな産業団地としての土地利用を図ります。
- (ウ) 市街化調整区域においては、豊かな田園環境を保全しながら、集落におけるコミュニティの維持と活力づくりを図ります。



【仁良川地区（土地区画整理事業施行中）】



【西坪山工業団地】

## ② 交通体系の整備

- (ア) 新4号国道、県道栃木二宮線などの幹線道路を結び、仁良川地区や主要な拠点を安全・便利に移動できる生活道路網の形成を図ります。
- (イ) 既存集落においては、狭あいな生活道路の改良やデマンド交通により、自治医大駅周辺及び仁良川地区への移動環境の充実を図ります。

## ③ 居住環境の整備

- (ア) 定住促進を図るため、仁良川地区（約91.4ha）において施行中となっている土地区画整理事業を推進します。
- (イ) 南河内公民館、南河内図書館、ふれあい館などの施設については、多くの人が利用しやすく、地域の生活、健康づくり、交流を支援する場として活用されるよう維持・管理を図ります。
- (ウ) 三王山ふれあい公園、別処山公園などの広域的な公園については、憩いやスポーツ、地域の歴史・文化を活かした広域的な交流等の拠点としての有効活用、施設の安全・快適な利用環境づくりを図ります。
- (エ) マテリアルリサイクルセンターについては、小山広域のごみ処理や資源の再利用化などに対応する都市施設（ごみ処理場）としての運営、維持・管理を図ります。



【南河内公民館等の公共施設】



【交流拠点となっているふれあい館】



【三王山ふれあい公園】

## ④ 自然環境の保全・活用

- (ア) 仁良川地区、三王山ふれあい公園、工業団地などの周辺における樹林地については、良好な自然環境として、また、自然とふれあえる場として保全を図ります。
- (イ) 豊かな田園環境や鬼怒川・田川等の河川の保全を図るとともに、豊かな地域資源を結ぶサイクリングロード、関東ふれあいの道の利用促進を図ります。



【田川サイクリングロード】

## ⑤ 歴史文化遺産等の保全・活用

- (ア) 三王山古墳、別処山古墳、東根供養塔などの地域の歴史文化遺産を保全し、これらを活かした魅力ある交流等の場として市民が利用できる公園づくりを進めます。
- (イ) 特に、三王山古墳については、ふれあい館、三王山ふれあい公園と一体的に、道の駅しもつけや田川サイクリングロードとの連携により、地域の歴史文化遺産を活かした魅力と活力づくりの拠点として活用します。



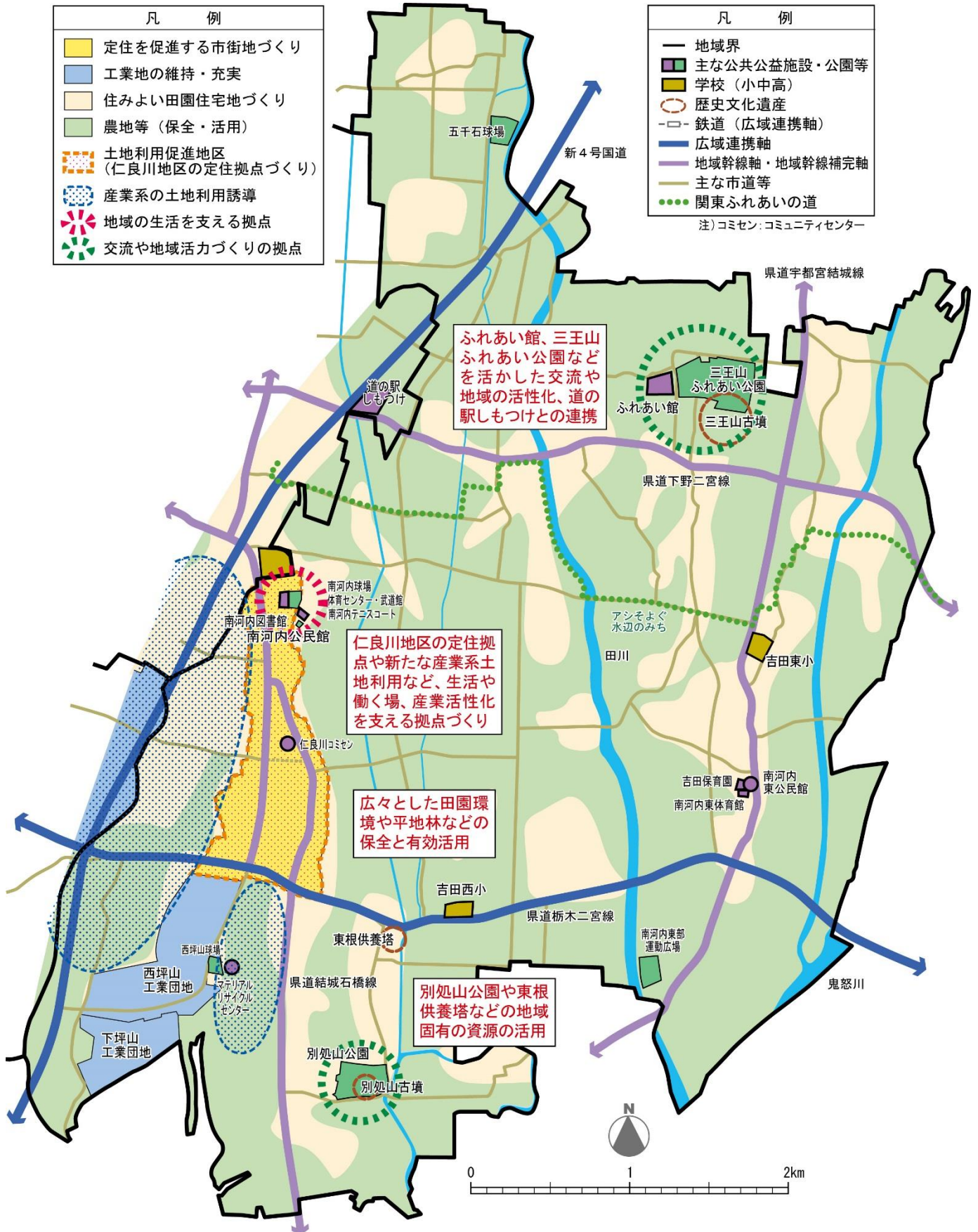
【三王山古墳】



【別処山公園内の別処山古墳】

## 2. 南河内東部地域のまちづくり基本方針図

\* 赤文字は地域の特徴的なまちづくり内容



## 地域2 《南河内西部地域》

### 1. 地域の特・役割を踏まえたまちづくり基本方針

#### (1) 地域の特・役割

##### ① 地域の特

- (ア) 市域中央部に位置し、国道4号、JR宇都宮線、新4号国道に挟まれたエリアで、自治医大駅周辺や県道結城石橋線沿道に市街地・集落が形成されています。
- (イ) 国道4号・新4号国道・県道小山下野線・県道結城石橋線の南北軸と、県道下野二宮線・県道自治医大停車場線の東西軸を骨格とした道路網が形成され、新4号国道沿いには道の駅しもつけが立地しています。
- (ウ) 国指定史跡の下野薬師寺跡をはじめ多くの歴史文化遺産が集積しています。

【位置図】



##### ② 地域の特

- (ア) 自治医大駅周辺を含む国道4号沿いの「都市機能集積ゾーン」が、「都市核」を含む全市的な都市活動の中心としての機能を担います。
- (イ) 自治医大駅周辺が「市街地エリア」、自治医科大学附属病院が「高度医療集積拠点」となっており、本市の強みである医療環境が充実した住みよい定住の場としての役割を担います。

#### (2) 南河内西部地域のまちづくり

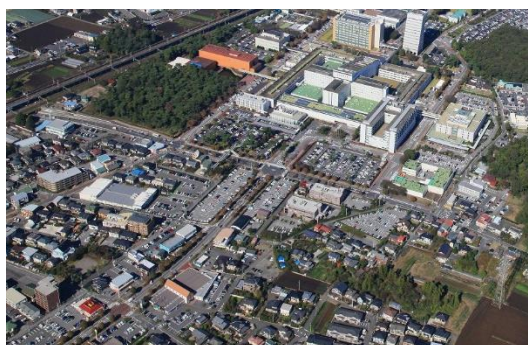
地域の特や役割を踏まえたまちづくりの方向を設定します。

##### ① 土地利用

- (ア) 自治医大駅周辺においては、自治医科大学附属病院及び周辺の医療施設の集積により、医療機能が充実した便利で暮らしやすい住宅地としての環境が整っています。今後は、都市核として、また、県内における高度医療の中心として、超高齢社会でも安心、便利に暮らせる定住の場としての強みを活かしたまちづくりを進めます。
- (イ) 国道4号沿道においては、優れた交通環境を活かした計画的な土地利用を誘導します。



【自治医大駅周辺市街地の住宅地】



【自治医大駅周辺】

## ② 交通体系の整備

- (ア) 国道4号と新4号国道を結ぶ東西幹線道路の確保による広域的な南北の幹線軸に加え、道の駅しもつけ、自治医大駅周辺、薬師寺地区を結ぶ県道下野二宮線、自治医大停車場線による東西の補助幹線軸を位置づけます。
- (イ) 自治医大駅周辺市街地の東側において、県道自治医大停車場線と都市計画道路小金井仁良川線を結ぶ道路整備を促進します。
- (ウ) 薬師寺地区においては、狭あいな生活道路の改良やデマンド交通により、自治医大駅周辺への移動環境の充実を図ります。
- (エ) 道の駅しもつけは、新4号国道等の道路利用者の休憩施設として、また、広域的な交流等の拠点としての機能向上を図るとともに、多くの人々が集まる地域の活性化の拠点として活用します。



【道の駅しもつけ】

## ③ 居住環境の整備

- (ア) 自治医大駅周辺のグリーンタウンにおいては、下野市自治医科大学周辺地区（約182.0ha）としての土地区画整理事業実施後、長期間が経過しており、老朽化した道路、公園等の維持・管理、空き家対策などの安全・安心に暮らせる環境づくりにより、都市核にふさわしい定住環境の充実を図ります。
- (イ) 薬師寺地区においては、薬師寺コミュニティセンターを活かした地域の交流や活力づくりを図ります。



【薬師寺コミュニティセンター】

## ④ 自然環境の保全・活用

- (ア) 薬師寺地区や自治医科大学附属病院周辺における良好な樹林地の保全を図るとともに、市街地内の薬師川についてもよい散策等の空間として保全・活用を図ります。
- (イ) 自然や地域資源を巡る広域的な遊歩道である関東ふれあいの道(\*)について、南河内東部地域や国分寺地域を結ぶ本市の魅力を感じられるルートとして、利用促進を図ります。



【国道4号沿いのアカマツ林】

\*環境省の「首都圏自然歩道構想」に基づき、地域の美しい自然、田園風景、歴史文化遺産などにふれあいながら、関東地方を一周するルートが設定されている。



【市街地内の憩いの場：薬師ヶ池】



【親水と自然の河川環境：薬師川】

## ⑤ 歴史文化遺産等の保全・活用

(ア) 国指定史跡下野薬師寺跡、薬師寺八幡宮などの歴史文化遺産については、貴重な資源として保全するとともに、下野薬師寺歴史館等を活かした情報発信や、道の駅しもつけとの連携により、地域の魅力と活力づくりの拠点として活用します。



【下野薬師寺跡】



【下野薬師寺跡（復元回廊）】



【下野薬師寺歴史館】

(イ) 薬師寺地区においても、歴史文化遺産や景観木、周辺の樹林地など、良好な景観要素を活用した地域の魅力ある景観づくりを図ります。



【下野薬師寺跡周辺の集落景観】



## 2. 南河内西部地域のまちづくり基本方針図

\* 赤文字は地域の特徴的なまちづくり内容



## 地域3 《石橋北部地域》

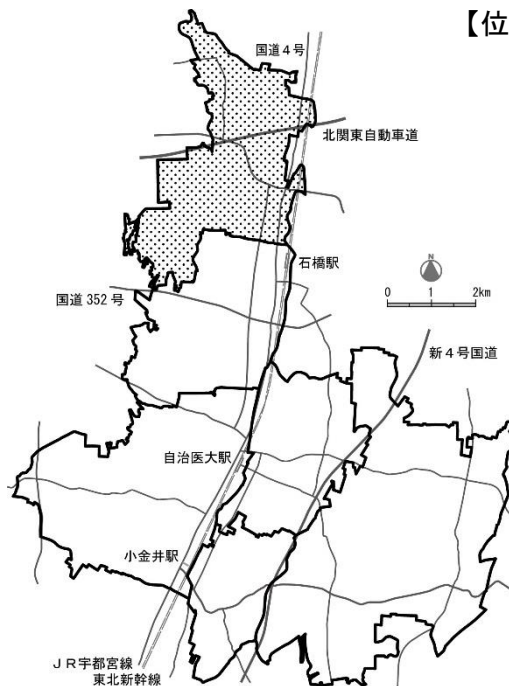
### 1. 地域の特性・役割を踏まえたまちづくり基本方針

#### (1) 地域の特性・役割

##### ① 地域の特性

- (ア) 市域北部の石橋市街地から北側のエリアで、国道4号沿道・下古山地区に市街地が広がり、また、姿川の西部に集落が形成されています。
- (イ) 国道4号・県道鹿沼下野線の南北軸と、県道羽生田上蒲生線の東西軸を骨格とした道路網が形成されています。
- (ウ) 姿川などの水系を中心とした田園地帯が広がり、都市的環境と自然・田園が調和した地域となっています。

【位置図】



##### ② 地域の役割

- (ア) 石橋駅周辺を含む国道4号沿いの「都市機能集積ゾーン」が、下古山地区をはじめとする「市街地エリア」における定住の場、工業団地などが連なる都市活動の中心としての役割を担います。
- (イ) 国道4号沿道の「産業誘導エリア」が、北関東自動車道スマートIC設置を見据えた産業の活力づくりの場としての役割を担います。

#### (2) 石橋北部地域のまちづくり

地域の特性や役割を踏まえたまちづくりの方向を設定します。

##### ① 土地利用

- (ア) 下古山地区（約60.4ha）の土地区画整理事業を実施した地区について、さらなる定住促進のため、住みよい環境づくりを進めます。
- (イ) 下古山地区及び既成市街地においては、石橋総合病院をはじめとする医療施設や店舗等が集積し、石橋駅周辺や県都・宇都宮市にも近い便利で暮らしやすい定住の場としてのまちづくりを進めます。



【国道4号沿道における店舗等の集積】



【下古山地区の住宅地】

- (ウ) 未利用地となっている石橋第一工業団地の有効な土地利用を促進するとともに、石橋第二工業団地の機能向上を図ります。また、国道4号沿道においては、北関東自動車道スマートIC設置を見据え、産業系の土地利用誘導を図ります。
- (エ) 姿川以西の集落においては、良好な自然環境を維持しながら、地域コミュニティの維持と活力づくりを図ります。



【石橋第二工業団地】

## ② 交通体系の整備

- (ア) 北関東自動車道については、広域的な交通ネットワーク向上と本市の産業や交流等の活性化に向け、スマートIC設置を目指します。また、アクセス道路や土地利用との連動など、設置を活かした有効活用を進めます。
- (イ) 都市核や宇都宮方面との広域的なネットワークを形成する都市計画道路北城通り等の整備を進めます。
- (ウ) 姿川以西の集落においては、狭い生活道路の改良やデマンド交通により、石橋駅周辺市街地への移動環境の充実を図ります。



【県道羽生田上蒲生線】

## ③ 居住環境の整備

- (ア) 面的整備による良好な市街地が形成されている下古山地区における定住を促進するとともに、既成市街地においても、安全・安心な居住環境づくりを進めます。
- (イ) 姿川以西の集落においては、市道、橋梁等の整備効果を活かしながら、田園環境と調和した良好な居住環境の維持を図ります。

#### ④ 自然環境の保全・活用

- (ア) きらら館、グリムの森について、健康づくりや童話などの特徴ある交流の拠点として活用するとともに、周辺の樹林地については、市街地に近い憩いの空間として保全を図ります。
- (イ) 姿川等の河川についても保全を図り、姿川、田園、樹林地が織りなす地域の豊かな自然の魅力を知ってもらえるよう、姿川サイクリングロードの利用促進を図ります。



【姿川サイクリングロード】



【グリムの森（グリムの館）】

#### ⑤ 歴史文化遺産等の保全・活用

県指定児山城跡については、貴重な歴史文化遺産として保全するとともに、グリムの森と一体的に地域の魅力と活力づくりの拠点として活用します。また、市街地に近い樹林地として、歴史文化遺産と調和した地域の魅力ある景観づくりへの活用を図ります。



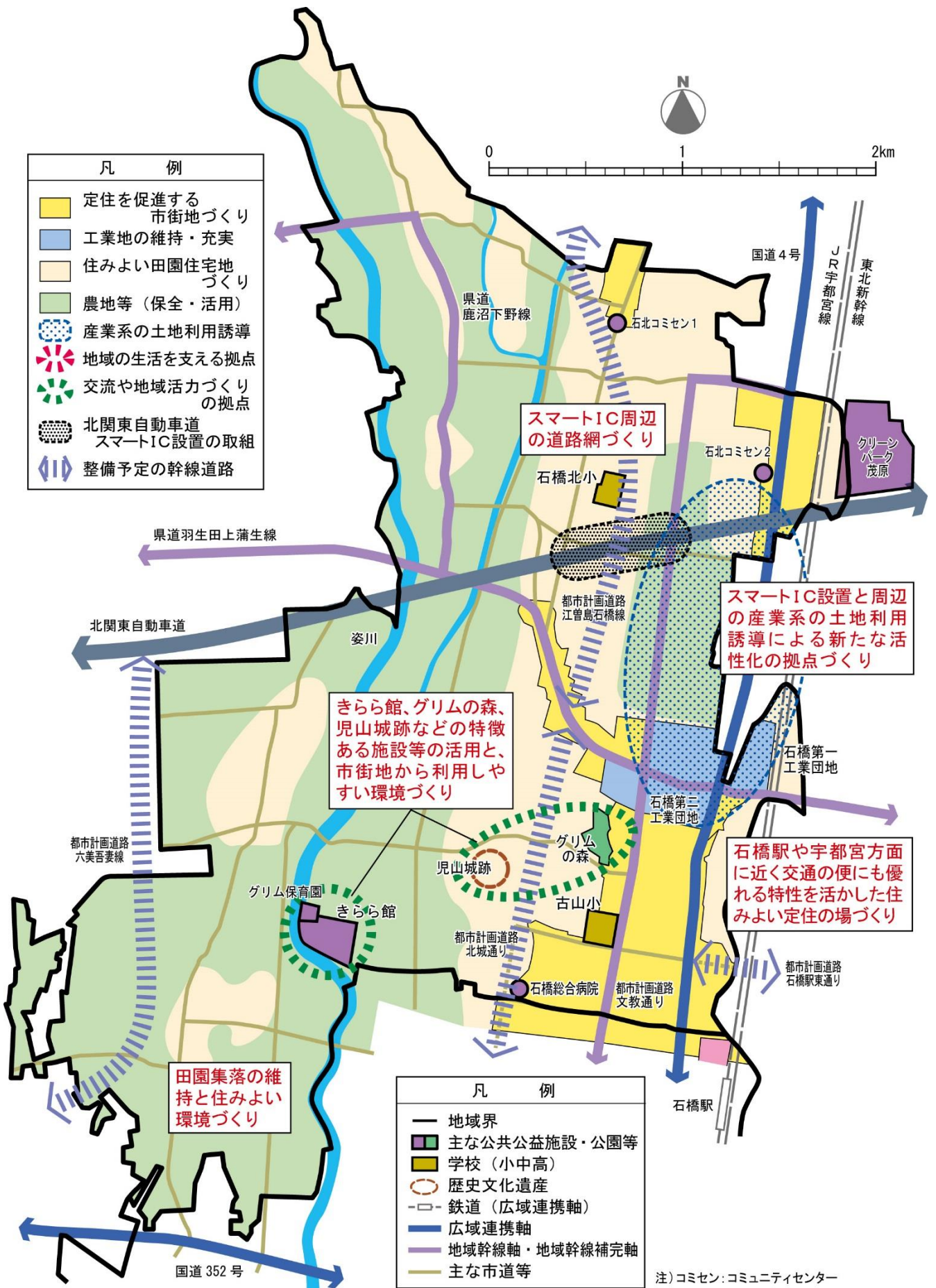
【児山城跡】



【児山城跡（遠景）】

## 2. 石橋北部地域のまちづくり基本方針図

\* 赤文字は地域の特徴的なまちづくり内容



## 地域4 《石橋南部地域》

### 1. 地域の特性・役割を踏まえたまちづくり基本方針

#### (1) 地域の特性・役割

##### ① 地域の特性

- (ア) 石橋市街地から南側の県道下野壬生線までのエリアで、国道4号沿道に市街地が、姿川以西に集落が形成されています。石橋駅周辺は、県立石橋高校等が立地する文教地域となっています。
- (イ) 国道4号の南北軸と、国道352号の東西軸を骨格とした道路網が形成されています。また、JR宇都宮線の石橋駅があります。
- (ウ) 市街地以西や国道352号以南においては、姿川などの水系を中心とした田園地帯や平地林などの豊かな自然環境が広がっています。

【位置図】



##### ② 地域の役割

- (ア) 石橋駅周辺を含む国道4号沿いの「都市機能集積ゾーン」が、「市街地エリア」における定住の場、店舗などが集まる商業地、工業団地などが連なる都市活動の中心としての役割を担います。
- (イ) 都市核との連携を確保し、全市が一体となったまちづくりの軸となる国道4号（広域連携軸）や都市計画道路（地域連携軸）が通っています。

#### (2) 石橋南部地域のまちづくり

地域の特性や役割を踏まえたまちづくりの方向を設定します。

##### ① 土地利用

- (ア) 石橋駅周辺においては、県立石橋高校等の文教施設、医療施設、店舗等が集積した便利で暮らしやすい定住の場としてのまちづくりを進めます。
- (イ) 地域南部の石橋第三工業団地の機能向上を図るとともに、国道4号沿道においては、都市核や優れた交通環境を活かした計画的な土地利用を誘導します。
- (ウ) 姿川以西、国道352号以南の集落においては、自然や農地と一体となった良好な環境を維持しながら、地域コミュニティの維持と活力づくりを図ります。



【石橋駅周辺の既成市街地】



【石橋駅周辺の商業地】

## ② 交通体系の整備

- (ア) 都市計画道路文教通り及び入野谷通りは、国道4号とともに市における南北の骨格となるルートとして位置づけます。
- (イ) 石橋駅周辺市街地の西部における南北の幹線を形成し、石橋総合病院のアクセスともなる都市計画道路北城通りの整備を推進します。
- (ウ) 既成市街地や既存集落においては、狭あいな生活道路の改良やデマンド交通により、石橋駅周辺や都市核への移動環境の充実を図ります。



【南北の軸である都市計画道路文教通り】



【地域中央部の南北軸である農道】

## ③ 居住環境の整備

- (ア) 石橋駅周辺地区（約5.5ha）の土地区画整理事業完成後の良好な定住環境づくりを図るとともに、既成市街地においては、石橋総合病院跡地や石橋庁舎跡地等、市街地内の既存ストックの有効活用を図りながら、安全・安心な居住環境づくりを進めます。
- (イ) 石橋駅は、宇都宮市や真岡市方面を結ぶ路線バスの発着拠点として機能しており、交通バリアフリーの整備を図りながら、公共交通の拠点として利用しやすい環境づくりを目指します。
- (ウ) 全市的なスポーツの拠点として拡張整備している大松山運動公園、姿川アメニティパーク、国道352号沿いの都市農村交流施設については、地域の交流や活力づくりの拠点として活用を図ります。



【スポーツ・交流の場である大松山運動公園】



【姿川アメニティパークの親水環境】

#### ④ 自然環境の保全・活用

- (ア) 国道352号以南の田園集落における良好な樹林地の保全を図ります。
- (イ) 姿川等の河川についても保全を図り、姿川、田園、樹林地が織りなす地域の豊かな自然の魅力を知ってもらえるよう、姿川アメニティパーク及び姿川サイクリングロードの利用促進を図ります。



【姿川】



【姿川サイクリングロード】

#### ⑤ 歴史文化遺産等の保全・活用

- (ア) 下石橋一里塚など、日光街道として利用されていた国道4号沿いに点在する歴史文化遺産の保全を図ります。
- (イ) 農地、樹林地、姿川、集落などが一体となった景観は、豊かなふるさとの田園風景として保全を図ります。



【下石橋一里塚】



【姿川沿いに広がる田園景観】



## 2. 石橋南部地域のまちづくり基本方針図

\* 赤文字は地域の特徴的なまちづくり内容



## 地域5 《国分寺東部地域》

### 1. 地域の特性・役割を踏まえたまちづくり基本方針

#### (1) 地域の特性・役割

【位置図】

##### ① 地域の特性

- (ア) 小金井市街地から東側の新4号国道までのエリアで、小金井駅周辺や県道栃木二宮線沿道を中心に市街地・集落が形成されています。
- (イ) 新4号国道・県道小山下野線の南北軸と、県道栃木二宮線・都市計画道路小金井仁良川線の東西軸を骨格とした道路網が形成されています。
- (ウ) 小金井駅においては、始発・終着駅として首都圏の通勤圏となっているなど、鉄道の利便性に優れた地域となっています。



##### ② 地域の役割

- (ア) 小金井駅周辺の「都市機能集積ゾーン」が、「市街地エリア」における定住の場、店舗などが集まる商業地などが連なる都市活動の中心としての役割を担います。
- (イ) 柴工業団地周辺は、新4号国道を活かした工業系の土地利用誘導を図る「産業誘導エリア」となっています。

#### (2) 国分寺東部地域のまちづくり

地域の特性や役割を踏まえたまちづくりの方向を設定します。

##### ① 土地利用

- (ア) 小金井駅周辺においては、小金井駅東地区（約53.5ha）の土地区画整理事業が実施済みであり、店舗等の生活を支える機能や公共施設などが集まった便利で暮らしやすい定住の場としてのまちづくりを進めます。
- (イ) 柴工業団地及び周辺工業地における都市基盤施設の適正な維持・管理を図り、工場等を誘致します。新4号国道周辺においては、広域的な交通ネットワークを活かした新たな工業系の土地利用を誘導します。



【小金井駅前の既成市街地】



【柴工業団地】

## ② 交通体系の整備

- (ア) 都市計画道路小金井仁良川線については、小金井駅周辺と柴工業団地、さらには栃木市と真岡市を結ぶ重要な幹線道路として活用します。
- (イ) 都市計画道路小金井仁良川線と県道自治医大停車場線を結ぶルートについては、南北の補助幹線として、土地改良事業と連携しながら整備推進を図ります。
- (ウ) 既存集落においては、狭あいな生活道路の改良やデマンド交通により、小金井駅周辺及び都市核への移動環境の充実を図ります。



【都市計画道路小金井仁良川線】

## ③ 居住環境の整備

- (ア) 柴公園、けんこう広場、コミュニティセンター友愛館などの施設については、地域の生活、健康づくり、交流を支援する場として活用されるよう維持・管理を図ります。
- (イ) 小金井駅においては、発着本数が多く首都圏への通勤利便性に優れている特性を、定住促進における強みとして活用します。また、交通バリアフリーの整備効果を活かしながら、公共交通の拠点として利用しやすい環境づくりを図ります。



【小金井駅（東口）】



【市街地内の柴公園（児童館等）】



【地域の交流等の場：コミュニティセンター友愛館】

#### ④ 自然環境の保全・活用

- (ア) 柴公園、けんこう広場については、市街地内の憩いと交流の場として、安全で快適に利用できる環境づくりを図ります。
- (イ) 小金井駅周辺と柴工業団地の間における良好な樹林地の保全を図るとともに、親水環境を活かした「哲学の道」についてもうるおいのある散策等の空間としての保全と利用促進を図ります。



【健康づくりや交流の拠点：けんこう広場】



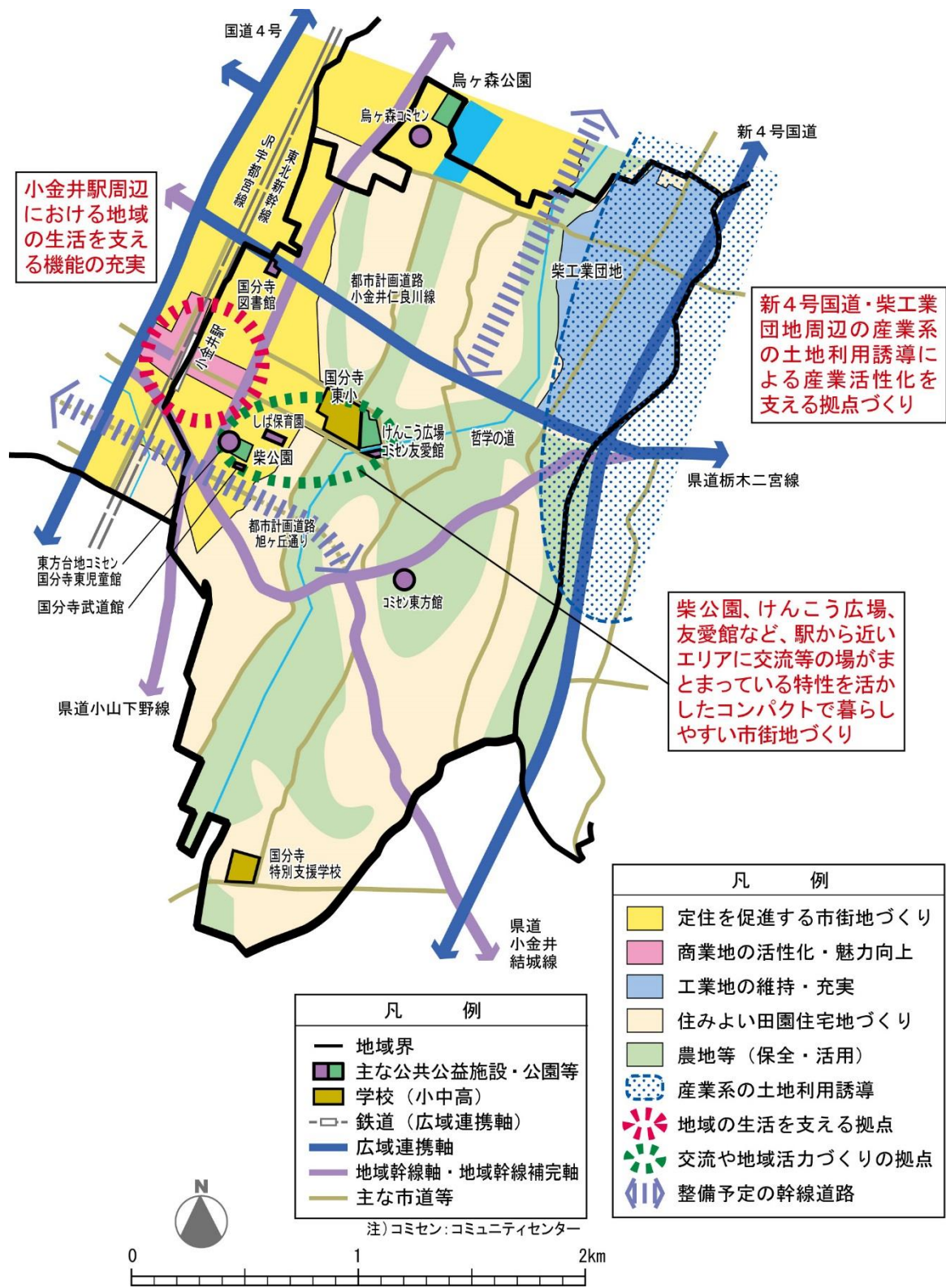
【散策等に活用されている哲学の道】

#### ⑤ 歴史文化遺産等の保全・活用

- (ア) 小金井駅周辺においては、住宅地の中に公園や学校などがコンパクトにまとまった街並みが形成されており、今後とも良好な景観の維持・向上を促進します。
- (イ) 小金井駅周辺の街並みと、農地、樹林地、集落などが調和した田園風景の保全を図ります。

## 2. 国分寺東部地域のまちづくり基本方針図

\* 赤文字は地域の特徴的なまちづくり内容



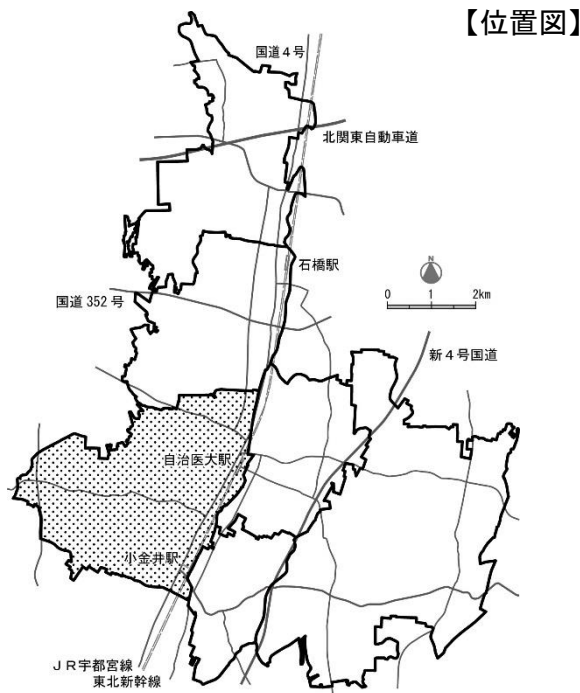
## 地域6 《国分寺西部地域》

### 1. 地域の特性・役割を踏まえたまちづくり基本方針

#### (1) 地域の特性・役割

##### ① 地域の特性

- (ア) 自治医大駅の西側には市役所庁舎が開庁し、多くの人が集まる場となっています。また、自治医大駅及び小金井駅周辺の市街地や県道栃木二宮線沿いの集落などが形成されています。
- (イ) 国道4号の南北軸と、県道栃木二宮線・県道下野壬生線の東西軸を骨格とした道路網が形成されています。また、自治医大駅、小金井駅による鉄道利便性が高い地域となっています。
- (ウ) 姿川と一体となった田園地帯と、国指定史跡の下野国分寺跡・下野国分尼寺跡・小金井一里塚等の歴史文化遺産が調和した地域となっています。



##### ② 地域の役割

- (ア) 小金井駅周辺の「都市機能集積ゾーン」が、「市街地エリア」における定住の場、店舗などが集まる商業地などが連なる都市活動の中心としての役割を担います。
- (イ) 市役所庁舎周辺の「都市核」が全市的な都市活動の中心としての機能を担い、併せて、国道4号沿いの「沿道活用エリア」においては計画的な土地利用の誘導が図られるなど、都市核を中心としたにぎわいと活力あるまちづくりの中心となる区域です。

#### (2) 国分寺西部地域のまちづくり

地域の特性や役割を踏まえたまちづくりの方向を設定します。

##### ① 土地利用

- (ア) 市役所庁舎周辺においては、自治医大駅周辺と一体となった都市核として、今後の本市の発展を支え、市全体の活力と魅力向上の中心となるまちづくりを進めます。
- (イ) 国道4号及び都市計画道路小金井西通り沿道においては、都市核及び交通環境を活かした計画的な土地利用を誘導します。
- (ウ) 小金井駅周辺においては、小金井駅西地区（約85.6ha）の土地区画整理事業が実施済みであり、小金井中央病院等の医療施設、公共施設、店舗等の生活を支える機能が充実した便利で暮らしやすい定住の場づくりを進めます。
- (エ) 田園集落については、良好な自然環境を維持しながら、地域コミュニティの維持と活力づくりを図ります。



【市役所庁舎】



【小金井駅周辺の商業地】

## ② 交通体系の整備

- (ア) 都市計画道路小金井西通りについては、市役所庁舎へのアクセス道路として、全体区間の完成を促進します。
- (イ) ゆうゆう館の北側において、県道栃木二宮線と県道下野壬生線を結び、市域を南北に通る軸を形成する市道の整備を推進します。
- (ウ) 自治医大駅周辺においては、安全な利用環境向上のため、交通バリアフリーの整備を図ります。
- (エ) 既存集落においては、狭あいな生活道路の改良やデマンド交通により、小金井駅周辺及び都市核への移動環境の充実を図ります。



【都市計画道路小金井西通り  
(小金井駅周辺の整備済区間)】

## ③ 居住環境の整備

- (ア) 市役所庁舎周辺については、行政の中心であり、また多くの人が集まるにぎわいや交流の場として活用するとともに、自治医大駅周辺と一体となった都市核にふさわしい都市機能の向上のため、新市街地の整備促進を図ります。
- (イ) 小金井駅においては、発着本数が多く首都圏への通勤利便性に優れている特性を、定住促進における強みとして活用します。また、交通バリアフリーの整備効果を活かしながら、公共交通の拠点として利用しやすい環境づくりを図ります。

## ④ 自然環境の保全・活用

- (ア) ゆうゆう館、天平の丘公園、蔓巻公園については、広域的な交流等の拠点として、また、多くの人々が集まる地域の活性化の拠点として活用します。
- (イ) 地域の良好な樹林地や姿川等の河川、親水環境を活かした小山用水路通りの保全を図るとともに、自然とふれあえる平地林や親水環境を活かした憩い、散策、交流の場として活用を図ります。
- (ウ) 姿川サイクリングロードや関東ふれあいの道について、地域の歴史文化と豊かな自然が織りなす魅力を知ってもらえるよう、利用促進を図ります。



【小山用水路通り】



【河川を活かした交流の拠点：蔓巻公園】

## ⑤ 歴史文化遺産等の保全・活用

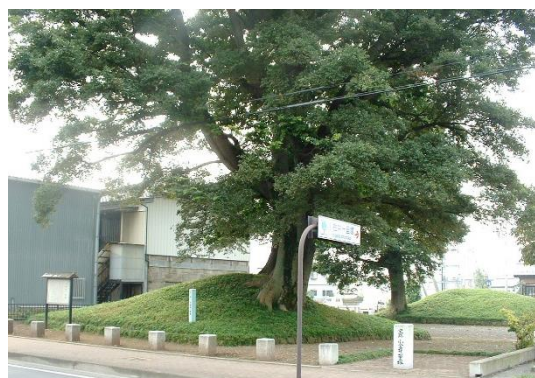
- (ア) 国指定史跡下野国分寺跡及び下野国分尼寺跡、天平の丘公園については、本市における歴史文化遺産を活かした最大の拠点として、広域的な交流、観光などの活力づくりに活用します。また、周辺の県指定丸塚古墳及び愛宕塚古墳と一体となって、公園及び周辺の樹林地と調和した緑豊かで魅力ある景観づくりを図ります。
- (イ) 国指定史跡小金井一里塚については、日光街道の面影を伝える歴史文化遺産として保全を図るとともに、国道4号沿いにあり小金井駅からも近いなど、多くの人が親しむことができる貴重な歴史文化遺産として、地域の魅力づくりに活用します。



【下野国分寺跡】



【下野国分尼寺跡】



【国道4号沿いの小金井一里塚】



【歴史文化・交流等の拠点：天平の丘公園】



## 2. 国分寺西部地域のまちづくり基本方針図

\* 赤文字は地域の特徴的なまちづくり内容

